

群馬県議会 リベラル群馬

後藤かつみ

県議会だより

vol.6

[発行]
リベラル群馬
後藤かつみ事務所

住所 高崎市八幡町800-24
TEL&FAX 027-343-1393
e-mail ccrgoto@yahoo.co.jp
HomePage http://www.g-kenshoku.jp/goto/

9月定例県議会

県政改革、雇用・過疎地域対策で

知事と白熱討論

後藤かつみは、9月定例県議会においてリベラル群馬を代表して一般質問に立ち、知事および執行部と白熱した討論を行いました。

討論① 「口利き」問題にメス

議員が地域住民の声を県につなげる「パイプ役」としてではなく、特定の企業や個人の利益をゴリ押しするよう

な不当行為を俗に「口利き」と呼びます。

後藤かつみは、本来県民に対して公平・公正でなくてはならない県行政が、議員の「口利き」行為によって歪められるのは許されないと、当選以来一貫して訴えてきました。本議会で後藤かつみ



図を用いて力強く政策を訴える後藤かつみ

群馬県でもフリーター(パート・アルバイトで働く若者)が3万人、ニート(教育・雇用・職業訓練の何れもしていない若者)が7千人もいると言われていています。若者が将来に希望を持って働ける環境を作らない限り、これからの年金や医療といった社会保障制度を支えられなくなります。更には、結婚して子どもをつくることもままならず、少子化は一層加速しかねません。後藤かつみは、若者

討論② 若者の雇用支援

は、知事と不当な「口利き」を防止するルールづくりについて徹底討論。そして、初めて知事からルール案が示されたことにより、いよいよ決着が見えてきました。

群馬県でもフリーター(パート・アルバイトで働く若者)が3万人、ニート(教育・雇用・職業訓練の何れもしていない若者)が7千人もいると言われ

の雇用問題は単に若者層の問題ではなく、群馬県の将来の社会保障・人口構造に関わる問題であると訴えるとともに、全国から高い評価を得ている本県の雇用対策を維持・強化

討論③ 過疎地域対策

旧倉渕村地域は、毎年平均80人も人口が減少している深刻な状況にあります。後藤かつ

することを求めました。知事・執行部からも、企業誘致と地場企業の活性化による正規雇用の創出と、雇用対策の予算を確保していく決意が述べられました。

みは、日常的に倉渕地域に足を運び、地域の方々と共に活性化策を議論してきました。現在、高崎市は、ふるさと住宅建設や「小栗の里」整備事業など活性化策を講じる方針ですし、地域では「く



知事と白熱した討論を繰り広げる後藤かつみ

らぶち草の会(新規就農者を受け入れて有機農業を営む団体)の活躍など、草の根活動も活発です。後藤かつみは、市町村・地域の主体的な取り組みに対して、県はどのような支援・役割を果たすのかを追及。知事からも、市町村と連携して自発的な取り組みを積極的に育成支援するために、部局横断による総合的な地域振興に取り組むとの決意が述べられました。

リベラル群馬が原油・飼料価格高騰対策を要請

農家の声を9月補正予算に反映

コスト高に苦しむ農家の生の声を要望書に

世界的な穀物・原油価格の急激な高騰により、畜産農家の飼料価格は1・5倍に、ハウス野菜農家の重油価格は3倍に跳ね上がり、経営努力だけでは乗り越え難いコスト高となつて農家を直撃しています。この状況に



稲山副知事に農業緊急対策を求める要望書を提出するリベラル群馬議員団(右から4番目が後藤)

して抜本的な対策を講じない限り、農業者の離農は一層加速し、本県農業の崩壊に繋がりがねない危機的な状況です。

後藤かつみの属する会派「リベラル群馬」9名は、農家やJAなどを訪問し、厳しい現状や要望を直接聞き取りました。そして、農家の「生の声」を基に、緊急対策を求める要望書を8月11日に提出しました。

六郷地区

地域活動三二報告

地域要望を基に、地元市議と協力しながら県・県警と協議を進め、六郷地区の安心・安全対策に尽力しました。

9月補正予算で8,000万円の緊急対策計上

リベラル群馬の要望に概ね沿う形で、9月議会の補正予算において8,000万円に上る規模の緊急対策が盛り込まれました。

畜産農家については、飼料を輸入のみに頼る不安定な経営から、自家生産する方法で安定した経営にスムーズに転換するための補助金制度を新設。ハウス野菜農家については、設備の省エネルギー化を進めるための補助金制度を拡充することなどが対策の中心となっています。

後藤かつみの一般質問に心強い応援団

飯塚・飯玉後援会 50名が議会視察



後藤かつみ飯塚・飯玉後援会の皆さんと 県議会議事堂にて

9月30日の後藤かつみ一般質問の当日、地元高崎より、飯塚・飯玉後援会から50名、有志の支援者が10名、合わせて60名の皆様が議会視察団として応援に駆けつけてくださりました。



筑縄駐在所の警察官を1名増員し、「空き駐在所」状態を改善(左は地元・山田行雄市議)



県道高崎榛名吾妻線 歩道の未舗装部分を解消して、安全に歩行できるように改良

後藤かつみは、県民に「役に立つ」議員を目指して日々汗を流しています。地域要望がありましたら、どんなことでも後藤かつみにお寄せください。